

もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

1
Jan

~ NO 271 / 2020 ~

あけまして
おめでとう
ございます

contents

- ★新年の挨拶：山本理事長
..... 2
- ★「もりの手紙」の出来るまで
..... 3
- ★1月例会案内：恵下山
●大学生の里山体験：富田
..... 4
- ★12月部会報告
●里山部会：松村
●クラフト部会：本廣
..... 5
- ★TEAM 森づくり
山本理事長
..... 6
- ★クリスマスマーケット：井丸
●ひと枝：モッコク
..... 7
- ★12月・各部の活動
●案内：あしがらクラブとんど
..... 8



クラフト部会の作品、今年の干支「ネズミ」。みんなで知恵を絞って考えた力作です。

私たちも もりづくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆湯来町 林クリニック <協賛企業：順不同：敬称略>



もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

「もりづくり 私にできることから」をモットーに活動

みんなで森づくり 健康で生き生きした森を育てます。
森を育てる技術を磨く 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
森を楽しみ森を味わう 人と森との関わりを拡げます。
森から学び森を伝える 森の恵みを活かし利用する活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

出前問伐

要請により、杉・桧の植林地の間伐・枝打ち・下刈りなど
手入れを行っています。

里山

雑木林や竹林の整備をはじめ炭焼きやしいたけ栽培など、
里山の恩恵を活かす文化を伝承しています。

クラフト

木を使うことは森を育てること。森のいのちを活かすこと。
間伐材など森の材を利用してベンチ制作や工作を指導。

環境教育研究

もりメイトキッズ等 森林体験教室の企画・実施
森の大切さ、守り方を伝えるリーダーを目指し、研究・実践。



～エピソード3・より深い信頼関係を築き～ 「ONE TEAM(ワンチーム)」を創造して行こう

理事長 山本恵由美

明 けましておめでとうございます。

新元号になって初めての年を迎えました。正月は前年に起こった諸々の出来事を浄化する清めの儀式と捉え、無事に生きて歳をいただいたことに感謝して、思索に耽けながら抱負を生み出しています。



昨 年倶楽部では、ひとつの転換点がありました。ある事件が起き、一見マイナスに思えたのも束の間、返って変革が進むきっかけになって運営が円滑に動くようになりました。世話人同士は**正常な組織運営を遂行するという大局的な視点を見失うことなく**、足りなくなったら皆の力で補うことに努め、協力し合えば切り抜けられるという自信と誇を持って責任感を共有。相整って信頼関係を築けた幸運とも言える年だったと考えています。

倶 楽部の立上げから 23 年間、本当に色々なことがありました。最初の 10 年のエピソード 1 は会の発展のため例会を中心に活動の幅を広げる部会の創設等で内部を充実。次のエピソード 2 は地域に貢献できる組織として活動団体の支援、希少生物の保護等、専門性を生かして外部に向けた活動を積極的に展開し、実に多くのネットワークを構築してきました。20 年を超えたエピソード 3 は存在意義の再考。長年走り続けてきた多岐にわたる活動の精査を行っています。安全を基にして例会では計画書と報告書の提示を徹底。11 月に開催した林業技法「木馬」を企画するなど、ほかでは体験できないユニークな活動も考えていきたいと。これまで数えきれないご縁によって多方面から物心ともにご支援をいただき認知度も上がり、大きく羽ばたいてきたと自負をしています。時には誹謗中傷に苦しむ事もあり、そんな時は多くの時間を犠牲にしてまで懸命に頑張ってきた力が抜け、窮地に陥る事も…。乗り越えてこられたのは助け船を出してくれる仲間との存在と「栄光を得るためには諦めずに立ち上がれ！」「途中で放り出しては駄目！」と叩き込まれた「スポ根性」の精神からかもしれません（笑）。

日 本が初の 8 強入りを遂げたラグビー W 杯日本大会。夢と希望を与えてくれた選手やコーチのコメントには共感する多くの言葉がありました。「多くの犠牲を払ってきたからには」「向き合う覚悟」「全員がゲームプランを信じて、自分たちの役割を遂行できている。信じる力はすごい」「選手たちはケガをしていても諦めずとにかく立ち上がった。」・・・倶楽部の活動と重なり、必ず良いチームにするという決意と力が湧きました。



次のパスを誰かが受け取ってくれることを楽しみにしながら、**今**誰かが活動のために時間を取り、未来を考えていることを想像していただければ有難く、これからも日本チームのスローガンのように、皆さんで「ONE TEAM (ワンチーム)」を創造していきましょう！

皆さんの手に 会報紙「もりの手紙」が届くまで



倶楽部の皆さんが活動するために働いている人がいます。計画をつくり情報を届ける人々が必要です。そのことを少しでも想像して欲しいと、新年号は会報発送の活動を取り上げました。会報の発送日は原則第一水曜日の夕方、袋町の交流プラザにて毎回、班長・役員、有志の皆さんが集って作業をしています。



両面印刷も成功！折りがあったページを間違えのないように入れ込みます。

(2020年1月)

1月 もりの手紙 企画書

No.	氏名	担当	備考
1	山本 浩一	編集	
2	山本 浩一	印刷	
3	山本 浩一	発送	
4	山本 浩一	編集	
5	山本 浩一	印刷	
6	山本 浩一	発送	
7	山本 浩一	編集	
8	山本 浩一	印刷	



企画書を作成し、原稿を集め、チェックを繰り返し、夜な夜な編集作業に取り組んでいます。少しでも読みやすく、見栄え良くなるよう心掛けています。(原田澄)



二つ折りの機械。便利ですが、時々ミスが…。その時は手作業で。



印刷。時々へそを曲げてうまく回らない事が。毎回、成功を祈る思い。



これまで、発送名簿の管理、封筒、紙の調達をこの一手に。印刷も大ベテラン(大長老:松村)



同じく編集を担当、プラザのパソコンから、出来上がった紙面を印刷機へ送る作業中。(土谷正樹)



発送用封筒も、名前シールを貼り準備 OK。イベント用、公民館などへ配布する必要な枚数をまとめ、発送分は三つ折りにしてノリ付けをして封をします。



“もりの手紙”は、2018年度・第52回全国林業改良普及協会主催の「林業関係広報コンクール」の広報誌部門に於いて優秀賞を獲得しています。

★皆さま★
今年も投稿や
発送作業のご
協力を宜しく
お願いします。



発送の枚数をチェック。数を確認の後、郵送用のケースに詰めて運びます。郵便局の方が白島の理事長宅へ取りに来られます。今月もクリア！お疲れ様。



会報作業終了後は、役員会。色々な情報交換や、取り決めを行う大切な会議を運くまで。



— 地域貢献例会 —

2020年1月例会案内《担当5班》

恵下山公園内の竹林、雑木等の整備を行います。

- ◆日時：1月26日（日）9時～15時
- ◆作業場所：恵下山公園（安佐北区真亀～県立高陽高校南側）
- ◆持参物：山の道具・飲料水・お弁当 温ったか～い、美味し～い汁を用意します。マイお椀を持参下さい。
※刈払い機をお持ちの方は持参して下さい。
※名札を着用します。お持ちの方はご持参下さい。
- ◆申込み：参加者は1月19日（月）までに各班長へ連絡
※例会運営担当5班の方、当日のリーダー担当の方は先に現地
で打ち合わせをします。8時30分までに集合して下さい。
※新入会員、応援会員その他参加希望の方は
事務局へ電話かメールでご連絡下さい
《090 6419 7531 : info@morimate-ch.com》
※2月の例会は湯来での集材を予定しています。



Welcome! 里山部会へ：大学生10名が森林体験 2019-12-8 in 妙國寺
4班 富田 実



学生10名が勢ぞろい。パチリ！記念写真。

山本理事長の紹介で安田女子大学6名、修道大学の4名の学生を迎え「妙國寺」裏山整備に携わってもらった。

ボランティアへは初めて参加との事。まずは、里山や森林の役割について、裏山を散策しながら説明をして理解を深めてもらうことから始めた。その後地元「スクウスクウの森活動委員長」の中重さんが、「四阿」を作るために運んできた檜の皮むきの方法について作業前に説明され、各1本を2名体制で取り組んでももらった。竹への先端を樹皮と木の間に差し込み剥ぐ技は、慣れるまでに少し時間がかかったが、皆熱心で、徐々にコツを掴むと効率よく作業が進み、集材してあった材（約13本）全ての皮むきが完了。達成感を味わってもらえた。

昼食も地元の食材を使った豪華な料理（野菜天ぷら、手打ち蕎麦、サラダなど）に皆大満足！

午後からは、木の伐り方、鋸の使いかたを体験したが、樹木の説明など富安さんからの説明を真剣に聞く真面目な姿に思わず感心。私自身、学生担当となりよい経験となった。

この度はアンケートがあり、ボランティア活動の満足度や森林の役割、整備についての理解度などの問いに対し、『大変満足した』『十分理解できた』など好い評価に印が記入され、感想の欄では、『皆さんの温かさや優しさを感じた』『普段の生活からは知ることのなかった知識を得た』『森林整備を行う意義や重要さを理解できた』『自然保護や持続させることの大切さを知り語り伝えたい』『活動の苦労が分かった』『今後も参加したい』など感謝の言葉も多く述べられていた。

是非、今後も色々な場面でボランティア活動に参加され、活躍されることを期待したい。



木の皮むき良好！笑顔がとってもステキです。



10月27日に例会が妙国寺で開催されましたが、田圃上部の作業が未完で終わり、里山部会で継続して進めることになり、12月8日に実施しました。

ここ数日寒さが戻ってきて冷え込みましたが、参加者は会員18名、修道大生4名、安田女子大6名、地元の方を含めて30名の大所帯となりました。里山部会だけでは作業にならないと覚悟していましたが、十分とは言えませんが作業の目安は立ちました。

JRで参加の安田生の一部が芸備線のドアの開かない手動ドアに戸惑い、志和口迄乗り越すというハプニングもあり、違う文化の勉強も出来ました。

予定した斜面の作業は順調とは言えず、またもやり残しが出ました。又、予定していたシイタケのホダ木採りは大径木で、周辺の整備は出来ていますが、実行できませんでした。学生さんには東屋の柱の皮むきを手伝ってもらい、6本完成しました。

例年とは違う形の納会となりましたが、会員の明野さんから手作りの新蕎麦提供を頂き、妙国寺からおむすび・煮しめ・サラダで今年の納会を行いました。

続きの作業は今後の話し合いで決定する計画です。



東屋の柱の皮むきに奮闘中!



広葉樹の葉も落ち冬芽の季節になりました、寒い中キンカンや柚子が元気に実をつけています。月日が経つのは早いもの、この1年たくさん行事があり(下記参照)楽しくも忙しい日々でした。イベント準備する方々に心より申し上げます、「ありがとうございました」。

4月 春のグリーンフェア、湯来狐原お花見イベント、山菜祭り(みどり会)

5月 ひろしまフラワーフェスティバル、妙国寺クラフト、広島市健康科学館クラフト

6月 ひろしまビルメン祭り(鷹野

橋)、山村整形クラフト 7月 オイスカ(山・SUN・サン活動、もみの木森林公園)

8月 広島市健康科学館クラフト、尾長学区子供会クラフト 9月 もりメイトキッズ(クラフト)

10月 森林カルチャー(ビルメン、マロンの里)、学校間交流(保垣照山会)、秋のグリーンフェア(植物公園)

11月 ひろしま森の市、呉どんぐり塾、山村整形クラフト、もみじ祭り(みどり会)

今月 12月15日(日) ひろしまドイツ・クリスマスマーケット、「森の手入れで出た間伐材を使った木

工クラフト」の店を開き43組の親子が工作に参加しました、クラフト準備中から皆さん寄ってこられ、12時開始を待たずにクラフトが始まりました。昼時なのでお店に人が集まりクリスマスコンサートと重なって、通路は人の波、

「毎年人が増えているように思います」とは主催者メンバーの神田様の言。今年は会員と一緒に学生2名も初参加、寒い中サンタ帽子で頑張り温かい交流ができました(会員参加3人、学生2人)。

来年もよろしく願います。今月の会員参加数 33人



干支のネズミもクリスマスの仲間入り。



クラフトづくりー一生懸命なお子さんたち

～森づくりボランティア活動“森林教育”を担当しました～
 広島県【ひろしま森づくり事業：TEAM 森づくり】

理事長 山本恵由美



広島県は、H19年から災害防止・水源涵養等の多機能を有する健全な森林の保全を目的に「ひろしま森づくり事業」

ゾーン（人と野生生物とを隔てる緩衝地帯）を作る活動を大きなテーマに挙げました。

今年度は新たに、湯来にて活動する地域団体「湯の山こどもの森プロジェクト」が、環境教育の場として構想を持っている“こどもの森”の整備をより充実させるために、林内の整備を手伝う支援活動を主眼とし、地域への貢献活動を通じて継続性のある「森林づくりの意識の醸成」を図っていくよう計画を立てました。

参加者のみなさん、熱心に活動され、『今回の森林体験を是非周りの人に伝えていきたい』『今後も何らかの形で森づくりを続けたい』と。嬉しい事に早速、会員になる方もおられました。仲間が増えてくれることを願い、倶楽部としてこれからも応援していきたいと思っています。

に取り組んでいます。

H30年度からは、普及啓発をさらに推進するために、普段森林と関わりの少ない県民にも実際に森林に入って林業体験を受けてもらい、森林整備を通して森への理解を深めるという事業が実施されています。その「TEAM 森づくり事業」は公募で集まった比較的若い県民をターゲットに活動を展開しており、昨年に引き続き、その重要な森林教育をもりメイト倶楽部が担当しています。

昨年は、様々な森林教育を行う中で、民家に近い里山において鹿や猪といった害獣の出没を防止する、バッファ

企画&ディレクター：山本（恵） 指導：岩田・本廣・秋武・原田（澄）・藤原（満）



上：山本理事長の講演

下：道具の説明をする藤原さん。



TEAM 森づくりのメンバー。右下2枚は活動する仲間たち

ー 3日間の主なプログラムー

【活動①】 森林を学ぶ＝森と人の関係性・整備の基本

- ・ワークショップ（午前）自己紹介・参加の動機・シェアリング
- ・講演：森づくり事業・森林の多機能と現状・手入れの必要性等パワーポイントで解説
- ・ワークショップ（午後）森づくりの方法
 間伐作業の技：倒す方向、受け口、追い口。
 森の道具について：道具の使い方・人工林の除伐・道具手入。

【活動②】 森林を学ぶ＝林内の主な植物を観察しながら、除伐の選木や方法を学ぶ。

- 森林で活動＝雑木林や人工林の伐採 ※遊歩道の材の確保
- 森を利用＝森林資源を活用する。①道づくりこれまでの整備による林内散材を整理。

- ・ワークショップ：地域の話：湯の山こどもの森プロジェクト 佐々木事務局長。

【活動③】 森林で活動＝整備＝環境教育の場として必要な整備 元畑にはびこる笹刈り

- 森を利用＝森林資源の活用 ①道づくりの続き ②階段づくり ③木工クラフト
 ・チェーンソーによるデモンストレーション





ひろしま・ドイツ・クリスマスマーケット 2019 に参加して



賑わいを見せたもりメイト倶楽部のクラフトコーナー

昨年の12月、中区上八丁堀のアーバンビューグランドタワー前で、「ひろしま・ドイツ・クリスマスマーケット」が開催されました。このクリスマスマーケットは、ホットワインやシュトーレン（ドイツ菓子）を販売する屋台が並び、本場ドイツのクリスマスの雰囲気味わえるイベントです。ここ数年、雪や雨の日が続いてましたが、今年は好天に恵まれ、沢山の方が足を運ばれていました。体験型のブースが少ないので、お陰様でイルミネーションが煌めくころには、完売！です。

こちらのイベントで印象的なのは、子供はもちろん、大人の方、カップルの方まで、時間をかけて作品に取り組んでいる姿です。

また、これから来るイベントを思いながら、ワクワクしながら作れるのも楽しいですね。クリスマス用に、ダーナラホース（スウェーデンの木彫りの馬）を絵付けしようか…、お正月用に、干支のネズミを作ったら、どこに置こうか…など、想像されます。

心残りなのは、忙しくてクリッペ（キリストの生誕の様子を表したもの）を背景に、今年も登場の本廣サンタさんを、撮影し忘れた事です。クリッペの人形以外の部は、倶楽部が作成しています。

ちょっとした外国気分を味わえるステキなイベントです。次回は、ぜひ遊びに来て下さい。《報告：井丸 恵》



左から、井丸・米田・本廣の各スタッフ。後方は初参加の女子大生ボランティアのお二人。



出番待ちのネズミとダーナラホース



モッコク 原田 澄

モッコク（木斛）
＜サカキ科・モッコク属＞

常緑の小高木～高木。千葉県以西から沖縄に自生。葉は枝先にまとまって付き、全縁で光沢があり長さ5～9 ㎝の倒卵形。葉柄が赤いのが特徴。6～7月に白い小さな花を下向きに咲かせ、果実は、直径1～1.5 ㎝。サクランボのようにぶら下がり、果皮が不規則に裂け赤い種子が現れる。名は、花の香りがラン科のセッコクに似ていることから。また、実が赤く熟し、目立つため、アカミノキの別名を持つ。…▼モッコクはモチノキ、モクセイと共に庭園樹の「三大庭木」として人気があり、緻密な材は昨年焼失した沖縄の首里城正殿にも用いられていたという。▼店先で出会った若いモッコクは、鳥が種を運んで来たらしく、知らぬ間に生えていたとの事。その姿、冬の澄んだ青い空に美しく映えていた。▼社会も自然界も不安を抱え、混沌としている地球号が2020年の新たな年を迎えた。どう舵をとるか、不確かだからこそ地に足を付け日々を大切に、そう願う。 ～佐伯区湯来町 2020・1～



—1月— 活動の予定

～皆様の参加お待ちしております～

クラフト 部会

【木置き場造り、倉庫整備、材料づくり】
：安佐南区山本町鹿ケ谷

■1月11日(土)、18日(土)、25日

■連絡先：本廣 090-4141-8603

間伐部会

**1月度出前間伐部会は
休会と致します。**

里山部会

■日時：1月12日(日) 9時～

■場所：「小川フィールド」

安佐北区白木町中三田地区

■作業：里山整備

■持参品：水筒・山の道具 他

■連絡先：岩田 080-5751-3798
※来月は2月9日(日)に開催予定です。

環研 部会

1月27日(月) 18:30～20:30

袋町交流プラザ 3階にて

1月は来年度の『もりメイトキッ
ズ』を中心に打合せを行います。

～環境教育に関心のある方など、
どなたでも気楽にご参加を！～

「第13回一年一善チャリティイベント」が開催されます。主催は地域コミュニティの活性化に取り組んでいる「NPO法人安芸七軒茶屋広島が好きじゃけん組」です。日時：2月2日(日) 13:00～16:30
・場所：広島市佐東公民館(JR七軒茶屋駅徒歩3分)・内容：琉球工イサー、ソーラン節、阿南元カーブ監督トークショー等 このチャリティー募金を我が倶楽部に贈呈いただいたご縁があり、倶楽部のパネル展示、PRも行いますので、奮ってご参加下さい。

2月号の会報発送作業は
下記の通り、実施します。

日時：2月5日(水)

18:30～20:00

場所：市民交流プラザ3F
(袋町小学校隣り)

もりの手紙原稿は

こちらのアドレスへ。

tegami@morimate-ch.com

＝京橋川かわいあいあしがるクラブ＝

「干潟でとんど祭り」組み立て・アシ刈りにご協力を！！

・日時：1月18日(土) 9:30～12:00

・場所：中区白島九軒町白潮(はくちょう)公園

白潮公園の護岸は、広島市の街地では珍しい、貴重な干潟やアシ原の広がる自然護岸が残っています。これは貴重な地域の宝で、次世代へ受け継いでいきたいと願って活動されております。是非ご協力下さい！！

「干潟でとんど祭り」ごあんない 1月18日(日) 9:00 受付開始

対象：どなたでも。ただし小学3年生以下は保護者同伴

参加費：300円 持参物：はし、お椀、飲み物、タオル、軍手、帽子など

申込：不要直接会場へ ～問合せ：中央公民館【電話221-5943】～

参加者募集



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》